

平成26年度 第4回経営協議会議事録

日 時 平成26年11月28日（金）13時30分～15時45分

場 所 事務局大会議室

出席者 石川、伊藤、大石、岡部、塩田、杉田、晝馬

伊東、石井、碓氷、浅利、前田、木村、中野、鈴木の各委員

欠席者 川勝、野田の各委員

陪席者 柳澤、東郷の各副学長

鈴木、櫻本の各監事

中村、佐藤、杉山の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成26年度第3回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 年俸制の導入及び関連就業規則の制定等について

前田委員から、本学に創設する年俸制の概要及び同制度の創設に係る就業規則の制定等について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、就業規則の制定等については、個々の内容について、教職員組合と折衝中であるため、折衝が終了次第、役員会で決議したい旨の説明があった。

（審議中に出された主な意見）

〔Ⓔ：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

Ⓔ：大学の使命としては、教育・研究活動のほか、社会貢献も重要な使命となっている。年俸制の趣旨・目的に明記してはどうか。

△：年俸制の制度設計には充分に加味しているところであるが、いただいた意見を踏まえて明確化するため、記載することとしたい。

Ⓔ：年俸制における個々の年額はどのように決定するのか。

△：月給制から移行となる場合には、月給額を積算した年俸額を最低額としてまず提示することとなる。企業等から新たに教員を採用する場合、現状の基本給の決定方法が、企業等の給与水準より低くなることから、同制度を活用して優秀な人材の確保に努めたい。

△：年俸制が定着していくことに並行して、今後、人件費の拡大が想定される。新たな財政基盤の在り方を検討する必要がある。

Ⓔ：退職金はどのような扱いとなるか。

△：退職金については、月給制期間を基に積算される。年俸制移行後は、退職金の

支給対象とはならないが、適用者に不利益とならないよう、定年時に支払われるであろう金額との差額分について、定年までの期間で除した額を毎年俸額に加算することとなる。

2 平成26年人事院勧告等への対応等及び関連就業規則の一部改正について

前田委員から、平成26年人事院勧告等に伴う本学の対応等及び関連就業規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本勧告は、法人化以後では初の引き上げ勧告となるが、今後の引き上げ勧告があった場合の対応準備として、自己財源の確保が必要となる旨の説明があった。

また、議長から、役員報酬の改定については、学長任期が来年3月末で満了することを踏まえて、新たな執行部体制となった場合にも対応できるよう「現給保障することができる」と規定する予定である旨の説明があった。

3 就業規則の一部改正について

前田委員から、人事院規則の改正を踏まえ、教職員の待遇改善及び教職員の労働実態に即した就業規則の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 長期借入金の文部科学大臣への申請及び静岡大学長期借入金取扱規則の制定について

前田委員から、外国人留学生寄宿舎整備事業に係る長期借入金の申請及び取扱規則の制定について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、本寄宿舎に入居することが想定されるアジアブリッジプログラムによる受入留学生に係る利用料金の設定及び徴収を含めた生活等支援の在り方について、今後、検討が必要である旨の説明があった。

Ⅲ 報告事項

1 法務研究科の学生募集停止について

議長から、第3回本会議で承認された本学大学院法務研究科の平成28年度以降の学生募集停止に係るその後の状況について、10月14日付けの臨時役員会において承認され、同日に公表を行った旨、資料5により報告があった。

2 平成25年度決算について

前田委員から、第2回本会議で承認された平成25年度決算（財務諸表）について、平成26年9月25日付けで文部科学大臣から承認された旨の報告があった。

3 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

東郷副学長から、平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料

6により報告があった。

なお、議長から、資料中の「戦略的・意欲的な計画を持つ法人」として、本学が新たに22法人の中に選定されたことと、第三期中期目標期間における運営費交付金との関連性について、補足説明があった。

4 平成26年度法科大学院認証評価に係る訪問調査について

中村法務研究科長から、11月25日及び26日に行われた「平成26年度法科大学院認証評価に係る訪問調査」の概要について、新たに変更となった評価指標等を踏まえて、報告があった。

5 平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況について

中野委員から、平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況について、主な改善点を踏まえて、資料7により報告があった。

(意見交換中に出された主な意見)

〔外〕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⑥：卒業・修了者の何割位が県内で就職するのか。

△：全体の約4割が、県内で就職する。入学者の比率とほぼ同様である。

⑥：県外から入学した者が、県内企業に就職する場合はあるのか。

△：県内有力企業への就職を目標に入学した者が、県内で就職する事例がある。

6 学長の選考について

塩田委員から、学長選考会議について、学長の適正な任期や意向投票の在り方等、現在の審議状況及び今後のスケジュール等について報告があり、併せて、学長の評価の在り方等、今後、議論が必要な課題について説明があった。

なお、議長から、学長選考の在り方について、学長選考会議に参画していない本会議の学外委員の意見聴取に関して、学長選考会議での検討が必要ではないかとの発言があった。

IV その他

1 「財務レポート2014」について

前田委員から、本学の平成25事業年度の財務状況について、席上配付資料の「財務レポート2014」により、説明があった。

2 第三期中期目標期間に向けた運営費交付金の在り方について

前田委員から、第三期中期目標期間に向けた運営費交付金の在り方について、国立大学法人に関連する関係会議での審議状況を踏まえて、資料8により説明があった。

なお、議長から、関連会議等において、単科大学と総合大学が同じ定義で議論されていること等に対する懸念の発言があり、今後の対応については、関連会議等の動向を注視しつつ、学内外の関係各所と相談しながら進めていきたい旨の発言があった。

3 静岡大学関連新聞記事について

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

4 本学職員の逮捕について

前田委員から、11月7日に発生した本学職員の逮捕に係る経緯、本学の対応及び今後の予定等について、説明があった。

以 上